

加工技術の知識で徹底サポート 企業と加工業者を確実につなぐ 燕三条地域「マッチングサイト」の挑戦

公益財団法人燕三条地場産業振興センター

新規の大口受注や、新たな開発プロジェクトの立ち上げ。さあ、頼りになる加工業者を——とインターネットを立ち上げ、情報量の多さに途方に暮れた経験は、製造業関係者なら誰にでもあるかもしれない。そんな中、金属加工業の集積地である新潟県燕三条地域の公益財団法人燕三条地場産業振興センターの企業支援課が展開する、「ビジネスマッチング事業」が注目を集めている。燕三条地域の加工業者の技術を熟知した専任スタッフが、加工業者を探す企業のニーズを聞き取り最適な加工業者を紹介。また紹介だけではなく実際の受注に至るまでの過程でも適宜サポートし、発注元企業と加工業者、両者が「Win-Win」の関係を作れるマッチングを目指している。10月18日には同事業紹介サイトをリニューアルし、12月末には燕三条地域の主な加工技術を集めた動画も公開予定。県内外関わらず、さらなる利用者拡大を目指している（図1）。

加工技術の知識を持つスタッフが最適な1社の選出をサポート



図1 サイトQRコード (https://webdb.tsjiba.or.jp/top/)

「燕三条地域には多くの加工業者が工場を構えています。そのうち従業員数4人以上の企業が1,200社以上、加工分野がプレス加工・機械加工・鍛造加工・鋳造加工・塗装・めっきなどと多岐に渡り、加工技術に熟知してい

なければ、県外企業がぴったりの加工先を自力で見つけるのは難しい。そこで当センターが双方の希望や、可能な加工・量産個数などを確認し、紹介することで不用意な mismatches を減らし、地域企業と、発注元企業双方がスムーズなビジネスを進められるよう支援しています」

とビジネスマッチング事業の利点を語るのは同センターの企業支援課でビジネスマッチングを担当、技術士（金属部門）でもある山家攻氏だ。

同ビジネスマッチング事業は今までに1,400件以上のマッチング実績がある。担当するのは企業支援課の3名で、山家氏のように「技術士（金属部門）」の国家資格を有する専門スタッフも在籍し金属加工技術の知識も豊富だ。地域内企業でマッチング情報を登録している750社それぞれの得意技術や保有設備、量産体制などを把握するよう努めており、企業側のニーズを的確に満たす紹介を可能にしている。

「燕三条を金属加工の集積地と知っていて加工業者を探そうとサイトにアクセスしてくださる方は多い。ところが、ビジネスマッチングのサイト紹介がわかりにくく、『燕三条ものづくり企業ナビ』という地域企業紹介ページから企業を探し直接問い合わせられる、という事例も多いようです。しかしそうなるとどうしても mismatches が出来しまい、結局ユーザー様も探すのをあきらめてしまうこともあると思われます。サイトリニューアルで、具体的に事業の利点を知ってもらい、積極的に活用いただくことで地域企業の新規受注獲得に貢献出来たらと考えています」（山家氏）